

充実した在宅医療の取組みについて

～日野病院 脳神経外科医による訪問診療スタート～

10月より訪問診療に脳神経外科医 白樫医師が加わり、医師計6名・看護師計4名体制でご自宅を訪問し、計画的に医療提供の強化を図っています。



医療技術の進歩に伴い、多くの患者さんが日常生活に復帰できるようになりましたが、脳神経外科疾患は昼夜問わず生じ、重篤な状態や後遺症を生じる場合が少なくありません。

日野病院では寝たきりや通院が困難な方等、在宅で生活されている患者さんをサポートし、そのご家族の負担を軽減し、ゆとりある生活を送っていただけるよう医師・看護師による訪問診療を行っています。

具体的なケース

M・Sさん 男性 72歳 妻と二人暮らし 傷病名:左被殻出血(脳出血の一種)

- H26.2 左被殻出血発症し他院にて手術
- H26.5 右半身麻痺・失語症が残り当院入院
- H26.10 退院

当院にて右半身麻痺・失語症のリハビリテーション開始

入院中の経過

運動面…車椅子中心の生活で移乗は見守り、四点杖にて軽介助で約50mの歩行が可能。
生活面…排泄はポータブルトイレにて介助、食事は左手のみを使用しほぼ普通食で可能。
言語面…失語症の影響により聞き手の配慮が必要となるが、頷き指さし等で簡単なやり取りが可能。

退院

自宅での生活の不安や再発防止等の為、通院での診察やリハビリテーションの継続を希望するが、奥さんの足が悪く不可能。

訪問診療・訪問リハビリテーション開始

訪問診療では、再発防止の為のアドバイスや、痛みやしびれ、精神的な不安等の症状の相談にも対応。また、患者さんの体力維持向上やご家族の介助負担軽減の為、訪問リハビリテーションと連携を図りご自宅での生活を支えています。



ご家族の声

手術をした病院では「もう家には帰れない。」と言われていたのですが、もう一度自宅で生活ができるようになり、本当に感謝しかありません。これから自宅で生活していく上で、再発や後遺症について多少不安はありますが、医師や訪問スタッフに相談できることは大変心強いです。

定期的な診察の他にも、緊急時には医師が状況に応じ往診等対応しています。また、入院が必要となった際には、当院でできる限りの対応を行い、病状によっては他院をご紹介いたしますので安心してご相談ください。

在宅医療(訪問サービス)の連携体制

当会グループでは各訪問機関が連携し、お一人おひとりに合った医療・介護サービスを提供し、安心できる在宅医療を目指しています。



日野病院が実施している「訪問服薬指導」と「訪問栄養指導」の具体的なケースをご紹介します。

訪問診療

薬が多く管理できていない為、飲み忘れることが多い。管理方法、服用方法等の指導をお願いします。



担当医師

訪問服薬指導

- 服用状況、効果の確認
- 医師に服用回数の変更を依頼
- 一包化し、お薬BOXにセットして提供



その結果

患者さん 飲み忘れがなくなり、症状が安定

薬剤師の方がお薬BOXに薬をセットしてくれるので、管理がしやすく助かっています。また、その他の薬との飲み合わせや副作用等についてもきちんと説明してもらるので安心です。

訪問診療

糖尿病成人症の患者さんで血液検査の結果、腎臓・糖尿病の数値が改善されたが、貧血・低栄養がみられた。食事内容の見直しをお願いします。



担当医師

訪問栄養指導

- 腎臓食から糖尿食へ見直し
- 食事を増やすよう提案
- 独居の為、訪問時に調理を行い提供



その結果

患者さん 栄養状態も良く症状も安定、状態の変化に応じて医師へ検査の依頼も考慮

腎臓食や糖尿食と言われても何を食べれば良いか分からなかったが、栄養士さんが毎回レシピを持ってきてくれ、調理方法等も教えてくれるので、大変助かっています。

利用時間・実施地域等 詳しくは各施設にお問合せください。

日野病院(事務部)
☎ 072-235-0090

日野クリニック(事務部)
☎ 072-276-5111

おひさま訪問看護ステーション北野田
☎ 072-239-5868